

公益財団法人水島地域環境再生財団

平成 23 (2011) 年度事業計画

平成 23 (2011) 年度、公益財団法人水島地域環境再生財団の事業計画は、公益財団法人への移行後初の事業年度として「みずしまプロジェクト」の推進に重点をおき、実施する。

本年度は、倉敷公害訴訟和解成立から 15 年の節目にあたる。今現在、倉敷公害訴訟や大気汚染公害といった基本的情報が次世代に充分には伝えられていないという課題がある。

一方、倉敷市では「水島環境交流スクエア」が、平成 24 年 4 月にリニューアルオープンするにあたって、環境監視センター移転と環境学習のためのライブラリー等の設置が準備されている。

このような課題や地域の現状を鑑み、「過去の経験を伝え、未来を志向する人材を育てる」というみずしまプロジェクトを環境保健分野、資料保存分野と連携して推進することを通じて、「公害経験とその教訓を伝え、将来の世代が安心して暮らせる環境を創出する。」というミッションを果たすことをめざす。

組織運営面では、平成 23 (2011) 年 11 月 1 日に、公益財団法人へ移行したことにあわせて、寄付受け入れ態勢の整備と寄付収入アップでの財政基盤の強化を図る。

1. 重点項目

(1) みずしまプロジェクトの強化

倉敷市水島地域の公害経験を活用し、公害・環境問題が深刻化している日本を含めたアジアの公害・環境問題の解決、また公害を繰り返さない、どの国でも 2 度と発生させない、そして持続可能な社会を形成するということを目的とした「みずしまプロジェクト」を推進するために、過去の実績を広報の素材として活用し、積極的によびかける。

2. 個別項目

【調査研究】

地域の研究機関としての役割を果たすために「水島のまちづくり」「公害・地球環境」「高梁川・瀬戸内海の環境再生」「コンビナート研究」を大きなテーマとして、新たな課題の発掘やその解決にむけた調査研究をおこなう。

- ・ 瀬戸内海分野：備讃瀬戸海域を中心に海底ゴミの問題解決へむけた現状把握、データ分析、広報素材の作成等、受託事業にて実施する。
- ・ 資料保存分野：公害の歴史についてのパネル作成およびサイト作成等へ過去の資料を活用させる
- ・ 環境保健分野：公害認定患者の QOL 向上のために必要な事象について調査研究を行う。環境保健および予防事業が一般に周知されていない現状を改善するための方法論について検討する。

【提言活動】

調査研究活動等で得られた知見、また研究者や他NPO等と連携などを活かし、提言活動をおこなっていく。

(1) 委員会等での提言

県環境審議会、県河川整備審議会で引き続き情報収集と提言を行う。

【講師派遣】

地域の環境への取り組みや市民力アップを目的に、講師派遣を積極的におこなう。

(1) メニューの充実と利用体制の整備

「瀬戸内海的环境」「まちあるき」「フードマイレージ」など地域の現状・課題に即した講演メニューを整備するとともに、サイトからの申込を可能にするなど利用しやすい体制を整える。

【視察受入、研修事業】

みずしまプロジェクトと連動したツアーの受け入れ体制強化および受け入れ増をめざす。

(1) 医療関係者、大学関係者向けの視察受け入れ・研修

医療関係者向けおよび大学関係者については、来年度実施に向けてピーアール活動を行う。

(2) 企業、行政向け研修プログラムの拡充

企業・行政むけの研修プログラムについては、提供できるメニューを精査し、プログラムを確立する。

(3) 外部との連携による実施

昨年度、モデルツアーとして実施したNPO法人町家トラストとの外部連携のツアープログラムを確立させる。新規の外部連携先については、他事業と連動しながら模索する。

【学習講座・啓発活動】

地域の環境への取り組みや市民力アップ、住民のよりよい生活を目的に、地域の現状・課題に即した学習講座・啓発活動をおこなう。

(1) 肺年齢測定／呼吸器リハビリテーションを活用としたCOPDに関する情報発信
環境保健分野の調査研究と連動して、講座・イベントを開催し、普及啓発活動を行う。

(2) 倉敷公害訴訟和解 15 周年記念イベント

公害患者さんのQOL向上を想定し、環境保健の予防事業と連動して実施する。

(3) 高梁川流域エコ指標を活用した環境学習（備中県民局共同提案事業）

(4) 海域を利用した自然体験学習

【支援連携】

地域課題に協働して取り組めるよう、地域の市民活動の底上げをめざして、他団体と連携して、支援体制を整える。事務作業への請負、インターン・ボランティアの受け入れ体制整備する。

・ ぐらしきパートナーシップ推進ひろば事務作業請負：DONATION 事業調査担当、出前

サポセン（環境）1月7日実施

- ・ GREENDAY2011：参加協力
- ・ 倉敷・総社温暖化対策協議会：交通システムグループ運営協力
- ・ ストップ温暖化くらしき：実行委員として協力
- ・ 環境ひろば：参加協力
- ・ エコらぼ倉敷：事務局として、エコ遠足・例会等運営
- ・ おかやま環境ネットワーク自然環境部会：参加・運営協力

【情報発信・収集（資料館）】

地域の情報や、みずしま財団の活動や情報を必要な人に、必要な時に、的確にとどけていけるような情報発信をおこなうとともに、地域や公害・環境に関する情報を収集し、提供をおこなう。機関誌等、FM、メルマガ、サイト、資料館スペース等の様々なツールを組み合わせて効果的な発信・収集をおこなっていく。

(1) 機関誌「みずしま財団たより」64号（新春）号、65号（3月）発行予定。

(2) FM 毎週金曜日に15分間の番組で発信する。

(1) メルマガ 内部関係者向けの情報を週に1度発信し、情報共有した。賛助会員への情報発信・共有について検討する。

(2) サイト等 ブログ等にてイベント情報の発信行う。

(3) 資料館 企画展を開催するなど、地域に環境や水島地域の情報を提供する。